



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

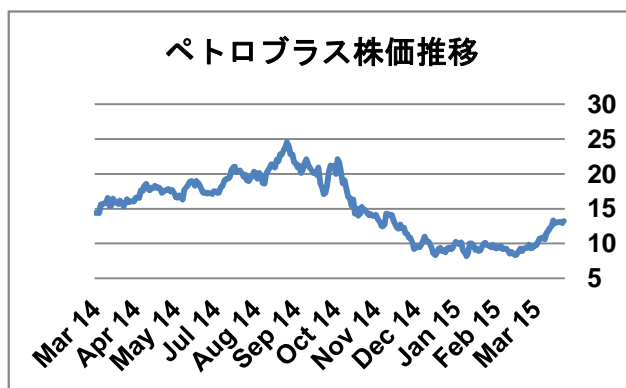
			4月17日	4月20日	4月22日	4月23日	4月24日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0400	3.0320	3.0100	2.9700	2.9510	-0.0190
	BRL/JPY	Spot	39.11	39.31	39.85	40.25	40.31	+0.06
	EUR/USD	Spot	1.0806	1.0743	1.0723	1.0824	1.0873	+0.0049
	USD/JPY	Spot	118.90	119.19	119.94	119.58	118.99	-0.59
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.42	13.48	13.22	13.48	13.51	+0.0350
	Future	1Year(p.a.)	13.44	13.52	13.52	13.55	13.59	+0.0400
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.684	1.796	1.698	1.651	1.642	-0.009
	USD	1Year(p.a.)	2.421	2.540	2.431	2.354	2.317	-0.037
株式	Bovespa指数		53,954.79	53,761.27	54,617.36	55,684.85	56,594.22	+909.37
CDS	CDS Brazil 5y		242.80	234.65	230.43	221.07	222.79	+1.72
商品	CRB指数		223.944	222.720	220.781	223.689	224.053	+0.364

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は3.0420で寄り付いた。伯経済成長見通しが更に弱まっていることやインフレ懸念が強まっていることを受けて、レアルは週間安値となる3.0570をつけた。その後、米原油在庫が減少しているとの見通しが強まり、原油価格が急騰したことを受けてレアルは3.02台まで堅調に推移した。レヴィ伯財務相がNYで公演を行い、財政改革のための予算案審議が順調に進んでいると述べたこともレアルをサポートした。
- 伯仲銀によるアナリスト予想集計では、2015年の経済成長率予想が-1.03%まで下方修正され、年末のインフレ率予想は8.23%まで引き上げられた。一方、為替レートの予想については2015年末のドルレアルは3.25から3.21へとレアル高方向に修正された。レアル高方向への修正は8週間ぶりとなっている。
- 祝日明けの22日は当初予定されていた通りにペトロプラスが監査済み決算書を公表する運びとなったことを受けて、期待感からボベスパ指数が堅調に推移した。レアルも堅調に推移し、一時3.00を上回る水準まで買われた。引け後に発表されたペトロプラスの決算では、2014年の損失が216億レアルとなったことが明らかになり、投資計画は2015年に290億、2016年には250億レアルまで縮小する計画が示された。
- 翌23日にはペトロプラスの株価が前日比大きく下落してスタートしたが、汚職事件後に続いてきた懸念材料が一段落したとの評価から反発し、一時は前日比プラスを回復した。ボベスパ指数は昨年11月下旬以来の水準を回復した。レアルは朝方に3.03台まで売られたが、株式の上昇を受けて2.97まで上昇した。
- 週末にかけては3月の米耐久財受注が発表され、航空機を除くコア資本財の受注が予想外のマイナスとなったことから、ドルが軟調に推移した。伯株式が引き続き堅調に推移したことからレアルは3月4日以来の高値となる2.9510を示現し、同水準で越えた。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所: Bloomberg

ペトロプラスが監査済み決算書を発表

4月22日にペトロプラスが予定通り2014年の監査済み決算を発表した。2014年の最終損益は216億レアルの赤字となった。昨今問題となった汚職による損失が62億レアルとなった他、資産の再評価により446億レアルの減損が計上された。当社の赤字決算は1991年以来となる。しかし、懸念材料が一つ取り除かれたことから、同社の株式は年間安値の1.7倍の水準を回復した。ブラジルの格下げが回避される可能性が高まったとして、ボベスパ指数は3日続伸した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等によって生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：2.90－3.10

今週はペトロブラスの監査済み決算書の発表に絡んでブラジル買いの相場となった。決算内容自体は非常に悪いものだったが、懸念材料が一つ取り除かれたとの評価から今まで売られて来たレアルに買い戻しが入ったもの。テクニカル要因でレアルは短期的に更に上値を追うと見る声強い。チャートで見ると2014年の高値から直近安値の38.2%戻しが2.88台前半にあり、短期的には2.90超えを試す可能性もあるが、ファンダメンタルズは依然として弱く、買戻し一巡後は再びレアル弱含みの展開を予想する。

来週は水曜日にCOPOMが開催され、市場は0.5%の利上げを予想している。インフレ率はいずれ購買力の低下で収まると見られているが、足元は高止まりしている。高金利が経済に与える悪影響が懸念される水準に来ており、利上げはむしろレアル売り要因として作用し易いと予想する。また、米国サイドではFOMCがあり、同日に第1四半期のGDP速報値が発表される。この所、経済指標は弱いものが目立って来ており、FRBは当面様子を見ると可能性が高い。今回のFOMCでは大きな動きはなさそ

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	個人ローンデフォルト率	5.4%	5.2%	5.3%
ブラジル	融資残高	--	3060B	3024M
ブラジル	ローン残高(前月比)	--	1.2%	0.4%
独	IFO企業景況感指数	108.4	108.6	107.9
米国	耐久財受注	0.6%	4.0%	-1.4%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	4/27	FGV建設コスト(前月比)	Apr	0.77%	0.36%
ブラジル	4/27	FGV消費者信頼感	Apr	--	82.9
ブラジル	4/27	税收	Mar	94650M	89982M
ブラジル	4/27	貿易収支(週次)	Apr-26	--	-\$240M
ブラジル	4/28	FIPE CPI-週次	Apr-22	1.00%	0.88%
ブラジル	4/28	失業率	Mar	6.2%	5.9%
ブラジル	4/29	FGVインフレーション(前月比)	Apr	1.12%	0.98%
ブラジル	4/29	SELICレート	Apr-29	13.25%	12.75%
ブラジル	4/29	中央政府財政収支	Mar	1.0B	-7.4B
米	4/29	FOMC政策金利(上限)	Apr-29	0.25%	0.25%
米	4/29	GDP(年率/前期比)	1Q	1.0%	2.2%
ブラジル	4/30	純債務対GDP比	Mar	--	36.3%
ブラジル	4/30	基礎的財政収支	Mar	6.6B	-2.3B
ブラジル	4/30	Nominal Budget Balance	Mar	--	-58.6B
米	4/30	シカゴ 購買部協会景気指数	Apr	50.0	46.3

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。